

佐渡市立高千小学校

令和7年度学校だより

令和8年3月2日 No.13

しおかせ

3月 1年を振り返って～進級の意味～

校長 後藤 洋子

立春後は冬に戻ったような寒さが感じられましたが、最近では校門前の花壇や児童玄関前のプランターからは、チューリップの芽が頭を出し始めました。春の訪れとともに、今年度も締めくくりの季節となりました。さて、先日の6年生を送る会、学校保健委員会、PTA総会に多くの方にお越しいただきましてありがとうございました。

全校朝会で子どもたちに以下のようなお話をしました。

もうすぐ、学校の1年が終わります。学校の生活は4月に新しい年を迎え、次の年の3月に、その年の学校生活が終わります。少し難しいですが、おもしろいですね。

さて、その学校の1年の2025年度が終わろうとしています。皆さんこの1年間、今の学年になった4月から今が終わろうとしている生活はどうでしたか？校長先生が皆さんの教室を回ると、教室の後ろの壁や、廊下に「目標」のカードが貼られていました。1年の目標を立てること、努力することを決めて書き、確認できるように貼っておくことはとても大切だと思います。では、皆さん。自分で考えた今年の目標や頑張ること、今、頭の中で言える人はどのくらいいますか。覚えていましたか？

「**目標を立てる**」ことは、皆さんが学校で生活していく上で、とても大切なことです。なぜなら、目標を立てることで意識して学校生活が送れます。もし、目標を立てていなかったら、ただ何となく学校生活を送り、時間と月日だけが過ぎていきます。



目標を立てたことで、達成できたか、守れたかを自分で確認したり、チェックをしたりします。**自分でチェックすることを「評価」と**いいます。自分で確認してできていれば、「やったあ」という成功したような達成感が生まれます。そして、また新たな次の目標を立てます。またできていれば、だんだんと達成感が大きくなり自信となっていきます。



もし、確認してできていなければ、なぜできなかったのか、どうしてできなかったのかを考えてみましょう。もしかすると、反省するときもあるかもしれません。

いずれにしても、**なぜかを考えることが、とても大切なことです**。これは、他の動物にはない自分の行動を振り返り、新しい目標を立ててさらに自分を向上させたり、改善する(直す)ことを見つけてできるように努力したりする、**人間だけがもち備えている自分自身を高める能力**です。そのためにも、できたかどうか確認する、評価するための「目標を立てること」が大切です。

さて、学校の1年の終わりとなる最後の月、3月です。自分の立てた目標を確認し、チェックする時がきました。この1年間の生活を振り返り、自分の立てた目標がどうであったか、しっかりとチェックしてみてください。



達成されていたら、新しい目標を立てて新しい学年に臨んでください。もし、達成できていなかったら、どうして達成できなかったのか、よく考えて、足りなかった部分を見つけ、次の学年で努力する点をはっきりとさせてください。**進級とは、学年が一つあがることを意味しているではありません。今の学年をしっかり振り返ることで、次の学年に向けての新たな目標や、努力する点をはっきりさせることが進級の本当の意味だ**と思います。